

【学校評議員評価結果】

令和3年度学校教育目標および評価項目【全日制】

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）						
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学課の特徴を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。	1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。							
	今年度目標	学校評議員 1 助言および評価	学校評議員 2 助言および評価	学校評議員 3 助言および評価	学校評議員 4 助言および評価	学校評議員 5 助言および評価	学校評議員 6 助言および評価	学校評議員 7 助言および評価
	(1) ICTの活用により、全教職員が生徒の主体的な学習意欲を喚起する授業づくりを心がけるとともに、話を聴き、思いを伝え、見守り、励ます温かみのある指導を通して1人1人の個性を大切にした教育の実施を目指す。到達目標や資格取得など具体的な学習目標を意識づけ、個々の進路実現に向けた学習活動を支援する。		ICT環境が整い、授業でも活用する場面が増えていることは、中学校も同様の傾向です。環境が整うとどのように活用していくか、職員の活用力の向上も重要になってきます。授業参観や研修等で中高の職員が交流することを通して職員のスキルアップをはかることを計画することも検討していくとよいと考えます。	就職希望者全員の内定が取れたことは大変良かったです。各種資格試験の実施は就職、推薦型選抜による大学進学のも大いに役立っていると思いますので、これからもさらなるスキル青王を期待いたします。	世界中ICTの時代となっています。日本は遅れているとの指摘あり。赤高の諸君は遅れなきよう望む。先生方の負担も多いことと思うがスキルアップ向上に尽力を求めます。在学中に取得できる資格は可能性有る限り取ってほしい。そのことが社会が求める即戦力に繋がります。	近年、ICTツールも増え、それを活用する教員の研修なども重要になってきています。その点は具体的にどうされているのでしょうか。とはいえ、やはり対面の授業が大事ですよ。	ICT活用には教職員の皆様のスキルアップが必要不可欠です。多忙な先生方が研修などに充てる時間を確保できるような体制づくりもお願いします。	オンライン学習はこの時代に生まれた学習方法であり、対面従来型の学習を氷魚呈するものであってはいけないと思います。教育の基本は対面での心と心、目と目で向き合ったものでなければいけないと思います。授業や生活指導でICTかつようして生徒たちに幅広く知見を広げることは大いに活用すべきでありそれによって社会や就労、政治などに興味を持ってもらうことは大切だと思います。生徒たちの考えを導き出すのは両親や教職員の皆さんの腕が試されるところだと思いますので期待しております。
	(2)生徒が自己理解・他者理解を深められるよう、学校の教育活動全体を通じて人間性の育成を目指す。互いの人権を尊重し合う態度を育て、心身ともに健康でいじめや体罰のない安全・安心な学校をつくる。	B	A	A	B	B	B	B
			クラスマッチの際に校内を見学させていただきました。すれ違う際にあいさつをする生徒の皆さんの姿から、学校に流れるやわらかな空気を感ずることができました。また、3年前に中学校を卒業させた生徒と直接会い、会話をすることで、高校生活を充実して送り、大きく成長した姿を見て、感動しました。3年間で人間性が高められていることを強く感じさせていただきました。	クラスマッチの見学をさせ智いただいた折、すれ違う方々皆さんきちんと挨拶をしていただき、礼儀正しい素晴らしい生徒だと感じました。先生方の日頃の指導の賜物と思います。これからもよりをお願いいたします。	「人の喜びが我が喜び」といった姿勢が大切な時代だ。赤高はいじめや体罰が少ないと聞く。とても良いことです。ボランティア活動も高校生参加が各地で盛んだ。赤高の生徒のせつきょう的な参加を望みます。人間性育成は根気のいる仕事です。先生方にエールを贈ります。	コロナ禍で生徒の家庭環境も影響を受け、苦勞している生徒が多そうですね。困難な状況が続きますね。生徒を一人一人見守ってください。	信頼できる大人との出会いは生徒たちの人生にとってかけがいのない財産になると思います。引き都築生徒たちとの会話を大切に、信頼ある関係性を奇瑞t璃っていただきたいと思います。	現在は多様な社会構造の中、生徒が接するいろんな経験から悩み、成長していくものだと思います。親に相談できない生徒さんの中にはたくさんいらっしゃると思いますし、親に相談する前に先生の意見を聞きたい生徒さんいらっしゃると思います。学校や教職員さんのハードルを下げて硬くならず話ができる雰囲気を作ってやることも大事なかなと思います。
		B	A	A	B	A	B	B
	(3)地域と連携した探究的な学びをより一層推進し、社会とのつながりを意識した地域理解や地域貢献の気質を育てる。地域に愛され頼られる学校と人材の育成を目指す、生徒・保護者・職員が力を合わせ、これからの子供たちのための赤穂総合学科新校（仮称）に向けた新たな学校づくりを進める。		今年度もコロナ禍のために、様々な活動に制限がかかったと思います。そのような中で、修学旅行の民泊の活動や商業科「ブライダル班」の活動は、人とのつながりを通して、探究的な学びを推進することにつながっていたと思います。今後、コロナの状況が変化するなかで、地域と連携した学びを深めてほしいと思います。	コロナ禍で活動も思うようにできなかったかと思いますが、結婚式のプロデュース等学校外に出ての活動も、新聞等で取り上げられ赤穂高校の存在感を発信していただきました。今後総合学科に移行しても、地域とのかかわりを大切にしていきたいと思います。	地域に大切にされる学校は生徒の人間力になることが大きい。人間力といっても「挨拶・返事・後始末」といった嫌や倫理感のレベルといえるのではないかな。ぜひ高めて欲しい。赤高総合学科の実現はすごく素晴らしい。充実の準備委員会運営を切に望み、担当の方々のご尽力に敬意を表します。	赤穂総合学会新校がどのようなものになるのか、まだよくわかりませんが、意欲的な試みだと思います。生徒たちのために頑張ってください。	人とかかわりを通してしか学べないことをたくさん学んでほしい。地域の良さを自らの手で見出して欲しい。そんな学びの場を新たな学校でもより多く提供できるよう学校と地域の関係性をどんどん深めていってください。	今年度の目標にあるようなことはとても大事ななことだと思います。地域の社会と連携して「社会貢献て何？」ということから、10年後の上伊那地域を創生させることも大事かなと思います。決して心地の良いことばかり伝える必要もないと思います。報道でも拝見しますが、生徒と地元企業が協力して作り上げた企画など、社会が生徒たちの身近に感じられる機会を多く作っていただけるとよいかなと思います。
		B	A	A	B	A	B	B
	全 校 (自由記述欄)	コロナ禍で多くのイベントが制限され、生徒は寂しい思いをしていると思う。コミュニケーション不足の中では先生が見守り、気づくにも限界がある。生徒主体の活動の場を広げてその中からお互いの悩みにお気づき、一緒に解決し合い、尊重し合える人間関係を学んでほしい。	赤中学生にとっては、同じ地域にある高校として大切な存在となっています。今後、連携した活動が出来ることを検討していければと思います。	コロナ化で何もできなかった時より、少しは進んだ年ではなかったかと思いますが。修学旅行・鈴蘭祭は規模縮小でも実施できたことは、卒業する3年生にとって思い出に残る1年だったと思います。新年度は感染症レベルも引き下げが決まりましたので、思いっきり行事ができると思います。先生方は大変かと思いますが、子供たちのためによりをお願いいたします。	赤高の伝統が継承できる総合学科新校が決まり、本当に良かったと思います。ご尽力くださった方々に心より感謝申し上げます。		少子化が叫ばれています。乳幼児と接する機会の少ない高校生に、ぜひ乳幼児と触れ合う体験をさせてあげたいです。子育ての喜びや大変さ、家族のきずなの大切さ命の尊さなどたくさんの感情が生まれると思います。	本校の生徒に限らず、高卒で就職した方々の3年間での離職率の数字は近年改善されているのかどうか気になっています。また、進学した方々が上伊那に帰ってきて就職して人数の増減はどうなのでしょう。